



サクソフォン奏者
安川 信彦さん (二宮出身)

13歳の時にサクソフォン(サクソ)を始め、国立音楽大学サクソ科(東京都)に進学。卒業後は、バンド活動やライブ活動を積極的に行う。昨年からは、自身があこがれていたラテンジャズビッグバンドである熱帯JAZZ楽団の公演にバリトンサクソフォン奏者として参加している。



サクソフォンを始めるきっかけは？

両親が音楽好きということもあり、家でジャズがよく流れていました。父親が通っていた市内の飲食店で開催されるジャズのライブに連れて行ってもらったことがきっかけで、サクソフォンという楽器に次第に惹かれていきました。

サクソフォンの魅力は？

サクソフォンという楽器は、クラシック音楽や吹奏楽など、幅広い分野の音楽で使用され、力強い音から繊細な音まで表現することができます。また、同じ楽器でも奏者が変わればまったく違う音色になるので、奏者の吹き方次第で音が変わることに奥深さや魅力を感じています。

サクソフォンの演奏は「歌うように吹く」とよく言われるのですが、ライブなどでそれができたと感じられると、とても気持ち良いですね。

11月26日の津山公演へ向けて意気込みを

わたしを育ててくれた津山で初めて公演することができ、とてもうれしいです。今回の公演では、中学生時代に演奏の指導を受けたダーク・アイズ・ジャズ・オーケストラ(岡山県北の社会人ビッグバンド)との共演も楽しみです。津山の人から誇りに思ってもらえる演奏をしたいです。

熱帯JAZZ楽団の演奏は、ステージ上でメンバーが音楽で会話をしながら会場全体の熱量を上げていきます。わたしもほかのメンバーとの演奏を楽しみながら、聴きに來てくれる人と一緒に熱く盛り上がりたいたいですね。



安川さんが出演する

**第10回津山国際総合音楽祭
熱帯JAZZ楽団コンサート**

とき 11月26日(日)午後6時30分～
ところ 津山文化センター(山下)
※チケットの購入方法など、詳しくはお問い合わせください
問津山国際総合音楽祭委員会事務局
(津山文化センター内) ☎24-7744



「つばき編集室」をご覧いただき、ありがとうございます。読者の方々から「つばき編集室の文字を大きくしてほしい」とのご意見をいただき、今月号から文字を少し大きくしました。これからもしっかりと検討しながら少しずつ改善を重ね、皆さんに愛されるより良い『広報津山』を作っていきます。(W)

今月号は表紙で食欲の秋、裏表紙で芸術の秋を紹介しています。表紙は、自分が考案した料理を調理している高校生の姿。おいしそうな料理と生徒の笑顔が印象的です。裏表紙はサクソ奏者の安川さんです。11月の公演に向けた意気込みを聞くと今から公演が楽しみです。公演に行つて秋を満喫します。(雨)

ずっと腰痛に悩まされていたのですが、最近、体調が良いので、週2日程度でバレエボールやソフトバレエボールなどの運動をしています。初めの頃は、体のあちこちで筋肉痛が起き、湿布を貼っても治るまで3日ほどかかっていました。今では体が慣れ、運動をして汗をかくことに喜びを感じています。(S)

編集・発行
津山市総合企画部秘書広報室(市役所3階)
〒708-8501 岡山県津山市北520番地

☎ 0868-32-2029
☎ 0868-32-2152
✉ kouhou@city.tsuyama.lg.jp

広報津山は、著作権保護のため再生紙と植物性インキを使用しています。読み終えた後にはリサイクル(雑誌)にご協力ください

☆広報津山はホームページで閲覧できます
<https://www.city.tsuyama.lg.jp/>



☆津山市のフェイスブックはこちら
<https://www.facebook.com/city.tsuyamakouhou>

